

世界ストリート国際会議企画運営等業務委託に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について

1 案件名称

世界ストリート国際会議企画運営等業務委託
契約期間 契約日から令和 7 年3月 31 日

2 選定した委託予定事業者

株式会社コングレ

3 公募期間

令和 5 年 11 月 29 日(水)～令和 6 年 1 月 12 日(金)

4 学識経験者等の意見を聴取する選定委員会による審議の結果

(1)委員名簿(敬称略)

委員氏名	役職等
嘉名 光市	大阪公立大学教授
藤原 直樹	追手門学院大学教授
影山 貴彦	同志社女子大学教授

(2)選定委員会の開催日

1 回目:令和 5 年 8 月 17 日(木)

令和 5 年 8 月 21 日(月)

2 回目:令和 6 年1 月 19 日(金)

(3) 審査基準

① 資格審査基準

参加表明書の提出者の資格審査基準は、以下のとおりとする。

審査項目	審査の着眼点	審査基準	備考
参加表明者の経験及び能力	過去 10 年間の業務実績の内容	平成 25 年度以降に、国際会議の企画運営に関する業務の契約及び履行した実績を有していること。（共同企業体により参加する場合は、代表者が実績を有していること）	
		以下の要件を満たす法人とする。 ・ 令和 5・6・7 年度本市入札参加資格者名簿に種目「O4：映画等制作・広告・催事・印刷、O3：催事、O1：総合イベント」に登録していること。 ・ 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 11 第 1 項において準用する同令第 167 条 4 の規定に該当していない者。 ・ 大阪市競争入札参加停止措置要綱に基づく参加停止措置を受けていない者。 ・ 大阪市契約関係暴力団排除措置要綱に基づく入札等除外措置を受けていない者。 ・ 大阪市契約関係暴力団排除措置要綱別表に掲げるいずれの措置要件にも該当しない者。	
配置する業務責任者の経験及び能力	過去の業務実績	平成 25 年度以降に、下記に関する業務の完了実績を有すること。（共同企業体により参加する場合は、代表者と直接雇用関係を有すること） ・ 国際会議の企画運営業務	
業務実施体制の妥当性		下記項目に該当する場合には選定しない。 ・ 再委託の内容が主たる部分の場合。 ・ 業務分担構成が、不明確または不自然な場合。 ※業務の主たる部分とは、 本業務における翻訳・通訳業務や印刷などの簡易な業務を除く業務とする。	

② 提案書評価基準

(i) 評価要領および評価表

本業務における特定テーマおよび技術提案書を特定するための評価表は以下のとおりとする。

評価は①～⑦の各項目毎に、A、B、Cの3段階とし、それぞれ次のように点数を計算して

100点満点(小数点第2位まで表示)で総合評価し、最高得点者を特定することを原則とする。

<計算方法>

A の場合は、配点×5／5点 B の場合は、配点×3／5点 C の場合は0点

特定テーマ	2025年には、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに大阪・関西万博の開催が予定されており、万博の開催前年に、メインストリートにおいて先進的な取組みを有する都市を招聘し、人中心の「未来社会のみち」のあり方を議論し、世界に発信する世界ストリート国際会議を開催する。 本業務では、国際会議の企画・運営を行うだけでなく、世界に向け、御堂筋のブランディングを図っていくため、会議で得られた成果、人中心の「未来社会のみち」のあり方、御堂筋における道路空間再編の取組みを万博時も含め情報発信していくための計画や記録媒体の作成を行うこととしている。 そこで、これら情報発信計画や記録媒体の作成を、より効果のあるものとするための実施手法、スケジュール、実施にあたっての留意点とその解決方法などを提案してください。
-------	---

評価項目		評価の着眼点	配点			評価	評価の 換算 計算	評価例			備考
			項目 別	複数 時 配分	項目 別 配分			項目別 配分	複数時 配分	項目別	
実施方針・手順・スケジュール等	業務理解度	目的、条件、内容の理解	40	10	10	A	10×5/5	10.00	32.00	32.00	①
	業務の 実施手順・ 実施体制	実施手順の妥当性		20	10	A	10×5/5	10.00			②
		業務量把握、人員配置の妥当性			10	B	10×3/5	6.00			③
	その他	独自提案に対する評価		10	10	B	10×3/5	6.00			④
特定テーマに対する技術提案	的確性	特定テーマとの適合性	60	20	20	A	20×5/5	20.00	40.00	40.00	⑤
	実現性	説得力があるか		20	20	A	20×5/5	20.00			⑥
	独創性	独創的な工夫があるか		20	20	C	20×0	0.00			⑦
合計（100点満点）			100.00					72.00			

(ii) 提案内容評価基準

評価項目のうち、提案内容に関わる項目については、以下のとおり評価する。

評価の着眼点			A	B	C	備考
実施方針・実施手順など	業務の理解度	目的、条件、内容の理解	目的、条件、内容の理解が優れている	目的、条件、内容の理解が十分である	目的、条件、内容の理解が不十分である	①
	業務の実施手順・実施体制	実施手順の妥当性	実施手順が妥当であり、実効性のある工程である	実施手順が概ね妥当である。	実施手順が不十分である	②
		業務量把握、人員配置の妥当性	業務量の把握が優れており、不測の事態にも対応できる人員配置である。	業務量の把握、各業務の人員配置が概ね妥当である。	業務量の把握、各業務の人員配置が十分とは言えない。	③
	その他	独自提案	業務成果を高める提案であり、実現性がある。	業務成果を高める提案である。	一般的な提案内容である	④
特定テーマに対する提案	的確性	特定テーマとの適合性	着目点が適切であり、理解が優れている	着目点が概ね適切であり、理解が十分である	着目点が適切でなく、理解が不十分である	⑤
	実現性	説得力があるか	具体的であり、留意点及び解決方法が示され、説得力のある提案である	具体的に示されており、提案としては十分である	内容に具体性を欠くなど、提案としては不十分である	⑥
	独創性	独創的な工夫があるか	効果的な情報発信を行うために工夫された提案がある（2つ以上）	効果的な情報発信を行うために工夫された提案がある（1つ）	一般的な提案内容である	⑦

(4) 審査を行った事業者(五十音順)

株式会社コングレ

東武トップツアーズ株式会社 関西法人事業部

(5) 審査の結果(合計点の高い順)

評価の着眼点			A 社		B 社	
			評価	点数	評価	点数
実施方針・実施フロー・工程表・その他	業務の理解度	目的、条件、内容の理解	A	10	A	10
	業務実施手順 (フロー・工程表)	実務手順の妥当性	A	10	B	6
		業務量の把握、人員配置の妥当性	B	6	A	10
	その他	独自提案に対する評価	C	0	C	0
特定テーマに対する提案	的確性	特定テーマとの適合性	A	20	A	20
	実現性	説得力があるか	A	20	A	20
	独創性	独創的な工夫があるか	A	20	B	12
合計(100 点満点)			86		78	